

愛知県における化学物質の環境への排出量等（2022 年度分）について

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下「化管法」という。）では、対象とされた化学物質を製造したり使用したりしている事業者は、環境中に排出した量（届出排出量）及び廃棄物などとして処理するために事業所の外へ移動させた量（届出移動量）を自ら把握し、年に1回、国に届け出ることとされています。国は、その届出データを集計するとともに届出の対象にならない事業所、家庭及び移動体（自動車等）から環境中に排出された量（届出外排出量）を推計し、公表します。

また、県民の生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）では、対象とされた化学物質を製造したり使用したりしている事業者は、その製造量及び使用量（届出取扱量）を自ら把握し、年に1回、愛知県知事に届け出ることとされています。

本県は、国が公表したデータをもとにして、本県における排出量等を集計するとともに、条例に基づく届出取扱量も集計し、併せて公表しています。

2022 年度の愛知県における化学物質の環境への排出量等の集計結果の詳細は以下のとおりです。

※ この資料に記載している排出量等の集計値については、表示単位未満を四捨五入により端数処理をしているため、合計等の値が各数値を合計した値と異なる場合があります。

また、割合（%）は小数第2位を四捨五入により端数処理しているため、各項目の合計値が100%にならない場合があります。

なお、2001 年度から 2021 年度データについては、2023 年 6 月の前回公表後に変更された届出内容を反映して集計した結果を用いています。

【参考】

- 化管法の届出対象となる事業者（以下の①から③の3つの要件を全て満たす事業者）
 - ① 政令で指定された業種を営む事業者
 - ② 常用雇用者 21 人以上の事業者
 - ③ 第一種指定化学物質のいずれかを1年間に1トン以上（特定第一種指定化学物質については0.5 トン以上）取り扱う事業所を有する事業者又は特別要件施設（廃棄物処理施設や下水道終末処理施設など）を有する事業者
- 条例の届出対象となる事業者
化管法の届出対象事業者と同じ。
ただし、廃棄物処理施設や下水道終末処理施設などの特別要件施設は含まれない。
- 集計した化学物質
化管法及び条例により、人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれがあるもの、オゾン層を破壊するおそれがあるもの等として、排出量等の把握・届出が義務付けられている化学物質
なお、2008 年の化管法施行令改正に伴い、2010 年度から、対象化学物質が 354 物質から 462 物質に変更されている（2023 年度分から 515 物質に変更されます。）。

第1 2022年度排出量・移動量・取扱量及び前年度（2021年度）比較の集計結果について

1 他都道府県との排出量等の比較

愛知県は、届出排出量、全排出量及び届出移動量が全国第1位でした。

表1-1-1 排出量等上位5都道府県

(トン)

順位	届出排出量		届出外排出量		全排出量		届出移動量	
1	愛知県	8,343 (8,678)	東京都	12,173 (11,776)	愛知県	19,077 (19,308)	愛知県	36,006 (34,514)
2	静岡県	7,313 (7,607)	愛知県	10,734 (10,630)	東京都	13,379 (13,190)	岡山県	18,016 (15,528)
3	広島県	6,766 (7,058)	北海道	10,419 (10,397)	静岡県	13,152 (13,595)	山口県	15,417 (15,561)
4	埼玉県	5,383 (5,347)	大阪府	8,398 (8,154)	埼玉県	12,657 (12,719)	兵庫県	14,530 (15,467)
5	福岡県	5,325 (4,850)	千葉県	8,337 (8,424)	茨城県	12,570 (12,939)	大阪府	14,489 (16,626)
	全国合計	122,313 (125,452)	全国合計	186,938 (187,676)	全国合計	309,252 (313,128)	全国合計	247,081 (259,236)

※表中の（ ）内の数値は前年度における排出量等

2 化管法に基づく届出件数

化学物質の排出量及び移動量について1,866事業所から届出がありました。届出事業所数の多い業種は、①燃料小売業が702件、②輸送用機械器具製造業187件、③金属製品製造業151件、④化学工業116件、⑤一般廃棄物処理業86件の順であり、この5業種で全体の66.6%を占めていました。

表1-2-1 業種別の届出事業所数

業種	届出事業所数	業種	届出事業所数
製造業	924 (937)	金属鉱業	1 (0)
食料品製造業	14 (15)	電気業	6 (8)
飲料・たばこ・飼料製造業	12 (12)	熱供給業	1 (1)
繊維工業	12 (13)	下水道業	58 (58)
木材・木製品製造業	10 (11)	鉄道業	2 (2)
家具・装備品製造業	4 (4)	倉庫業	10 (10)
パルプ・紙・紙加工品製造業	19 (21)	石油卸売業	5 (7)
出版・印刷・同関連産業	10 (11)	自動車卸売業	1 (1)
化学工業	116 (118)	燃料小売業	702 (729)
石油製品・石炭製品製造業	23 (23)	洗濯業	5 (5)
プラスチック製品製造業	85 (85)	自動車整備業	6 (6)
ゴム製品製造業	17 (17)	機械修理業	0 (0)
窯業・土石製品製造業	72 (76)	商品検査業	4 (4)
鉄鋼業	37 (36)	計量証明業	0 (0)
非鉄金属製造業	34 (37)	一般廃棄物処理業	86 (89)
金属製品製造業	151 (155)	(ごみ処分業に限る。)	
一般機械器具製造業	55 (53)	産業廃棄物処分業	40 (40)
電気機械器具製造業	52 (53)	医療業	5 (3)
輸送用機械器具製造業	187 (185)	高等教育機関	3 (4)
精密機械器具製造業	11 (10)	自然科学研究所	7 (7)
その他の製造業	3 (2)	合計	1866 (1911)

※表中の（ ）内の数値は前年度における届出事業所数

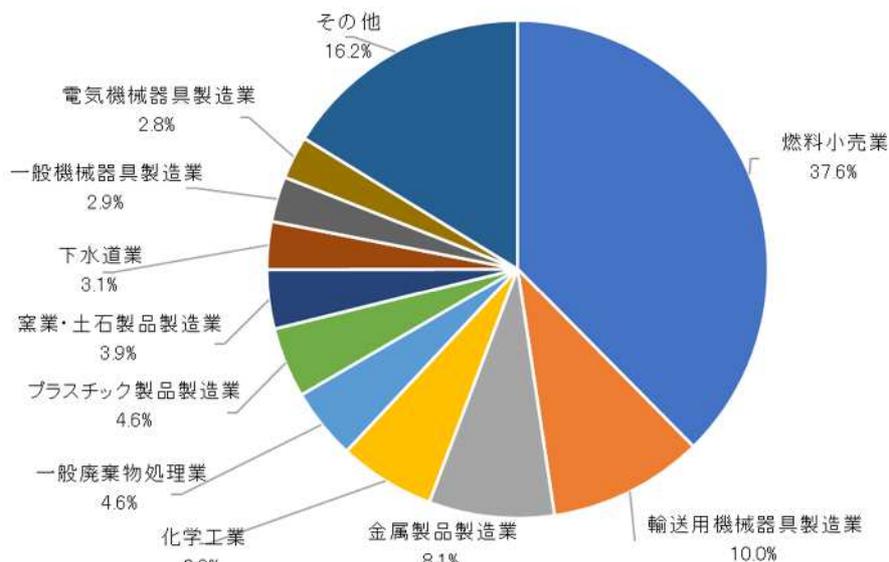


図1-2-1 届出事業所数上位10業種の割合

3 全排出量

全排出量は19,077トンであり、前年度と比較すると231トン（1.2%）減少しました。

(1) 全排出量の構成

全排出量のうち事業系の排出量が全体の76.2%を占めていました。また、家庭からの排出量は10.3%、移動体からの排出量は13.6%の割合でした。

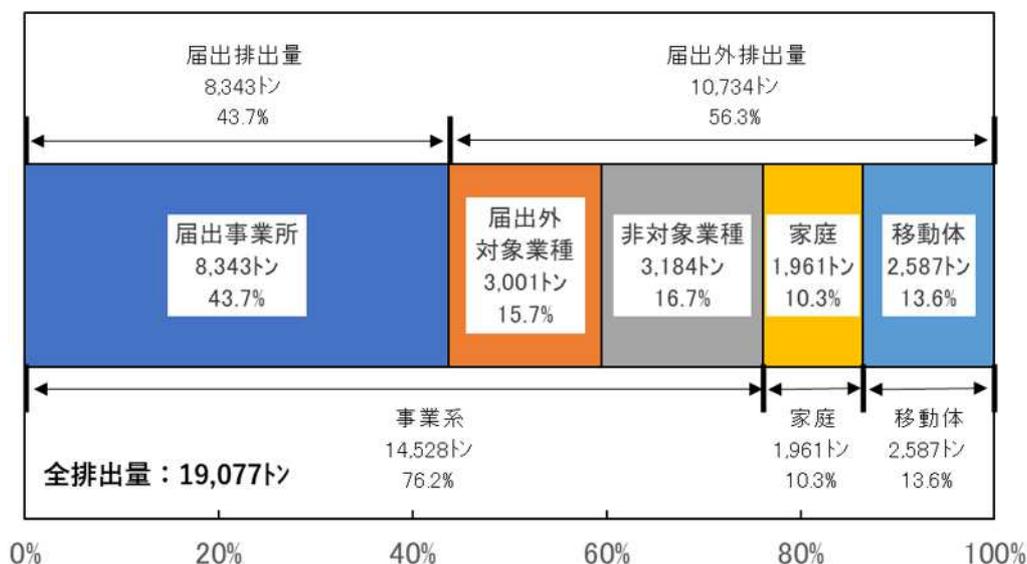


図1-3-1 全排出量の構成割合

表1-3-1 全排出量の構成の前年度比較

	全排出量(トン)						合計 (トン)
	届出排出量 (トン)	届出外排出量(トン)				小計	
		届出外 対象業種	非対象業種	家庭	乗り物 (自動車など)		
2022年度	8,343	3,001	3,184	1,961	2,587	10,734	19,077
2021年度	8,678	2,906	2,999	2,123	2,602	10,630	19,308
増減	△ 335	95	185	△ 162	△ 15	104	△ 231
増減率	△ 3.9%	3.3%	6.2%	△ 7.6%	△ 0.6%	1.0%	△ 1.2%

(2) 物質別の全排出量

全排出量の上位5物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルーヘキサン、⑤ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテルであり、この5物質で全体の65.1%を占めていました。

①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルーヘキサンは事業系からの排出量が多く、⑤ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテルは家庭からの排出量が多くありました。

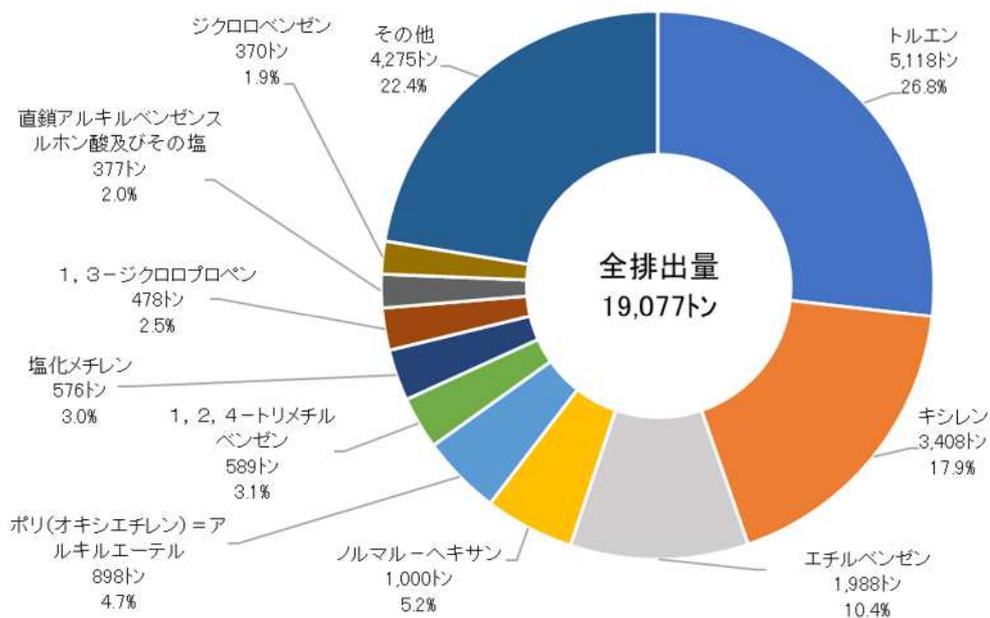


図 1-3-2 全排出量の物質別の割合

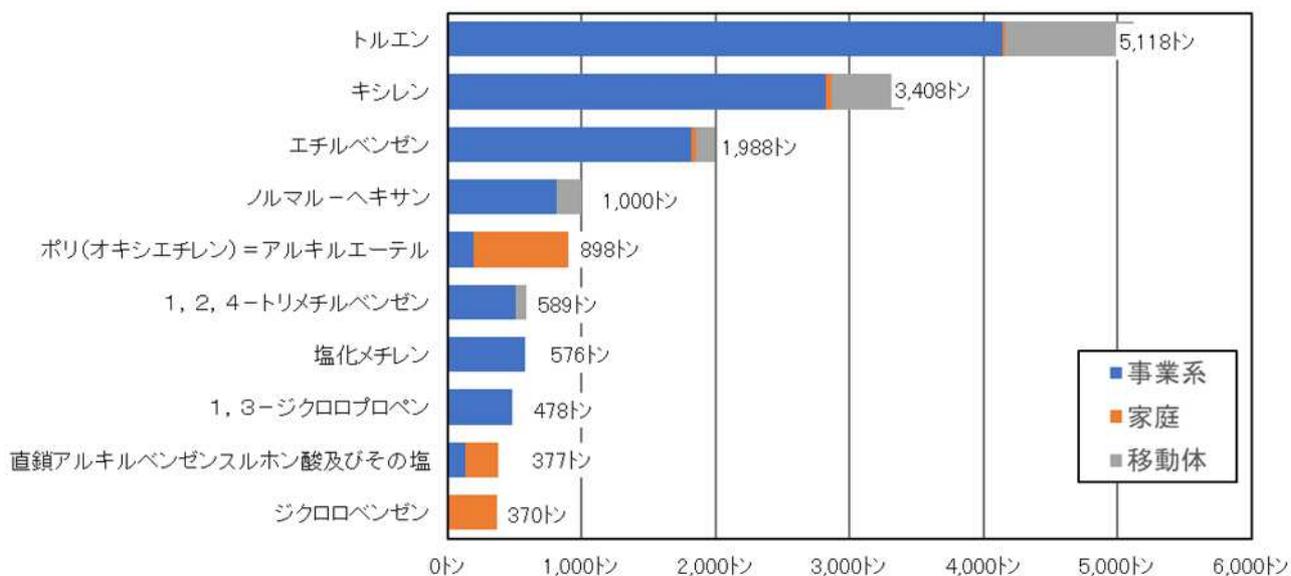


図 1-3-3 全排出量上位10物質の発生源

表 1-3-2 物質別の全排出量の前年度比較

	全排出量(トン)						合計(トン)
	①トルエン	②キシレン	③エチルベンゼン	④ノルマルヘキサン	⑤ホリ(オキシエレン)=アルキルエーテル	その他	
2022年度	5,118	3,408	1,988	1,000	898	6,665	19,077
2021年度	5,126	3,317	1,900	1,054	963	6,947	19,308
増減	△ 8	91	88	△ 54	△ 65	△ 282	△ 231
増減率	△ 0.2%	2.7%	4.6%	△ 5.1%	△ 6.7%	△ 4.1%	△ 1.2%

4 届出排出量

届出排出量は8,343トンであり、前年度と比較すると335トン(3.9%)減少しました。

(1) 届出排出量の排出先

届出排出量全体の96.1%が大気へ排出されました。

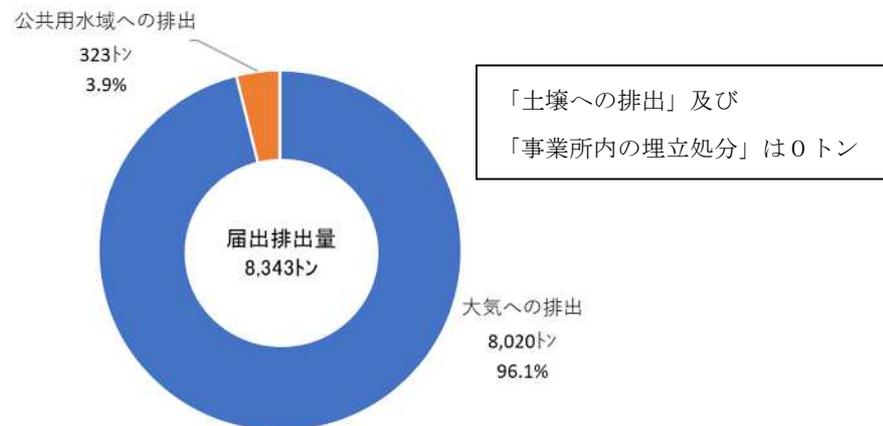


図 1-4-1 届出排出量の排出先別の割合

(2) 業種別の届出排出量

届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③金属製品製造業、④化学工業、⑤一般機械器具製造業であり、この5業種で全体の73.2%を占めていました。前年度と比較すると、上位5業種全ての排出量が減少しました。

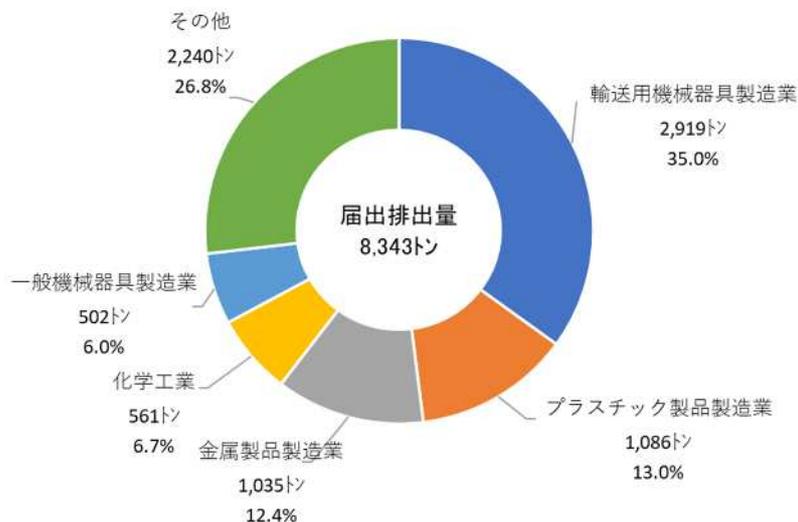


図 1-4-2 届出排出量の業種別の割合

表 1-4-1 業種別の届出排出量の前年度比較

	届出排出量(トン)						合計(トン)
	①輸送用機械器具製造業	②プラスチック製品製造業	③金属製品製造業	④化学工業	⑤一般機械器具製造業	その他業種	
2022年度	2,919	1,086	1,035	561	502	2,240	8,343
2021年度	2,920	1,092	1,101	501	573	2,492	8,678
増減	△ 1	△ 6	△ 66	60	△ 71	△ 252	△ 335
増減率	△ 0.0%	△ 0.5%	△ 6.0%	12.0%	△ 12.4%	△ 10.1%	△ 3.9%

(3) 物質別の届出排出量

届出排出量の上位5物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルーヘキサン、⑤塩化メチレンであり、この5物質で全体の79.9%を占めていました。また、前年度と比較すると、①トルエン、②キシレン、④ノルマルーヘキサン、⑤塩化メチレンの排出量が減少しました。

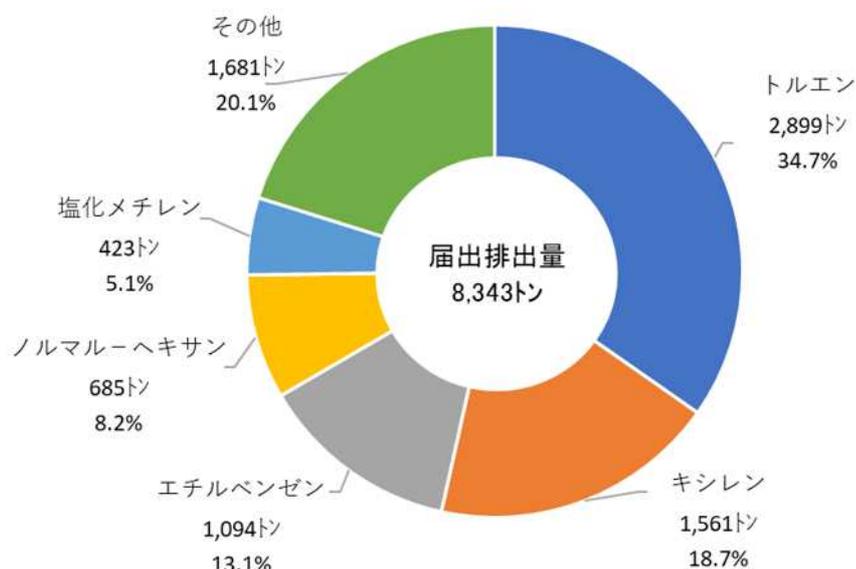


図 1-4-3 届出排出量の物質別の割合

表 1-4-2 物質別の届出排出量の前年度比較

	届出排出量(トン)						合計(トン)
	①トルエン	②キシレン	③エチルベンゼン	④ノルマルーヘキサン	⑤塩化メチレン	その他物質	
2022年度	2,899	1,561	1,094	685	423	1,681	8,343
2021年度	3,043	1,588	1,056	740	474	1,777	8,678
増減	△ 144	△ 27	38	△ 55	△ 51	△ 96	△ 335
増減率	△ 4.7%	△ 1.7%	3.6%	△ 7.4%	△ 10.8%	△ 5.4%	△ 3.9%

5 届出外排出量

届出外排出量は10,734トンであり、前年度と比較すると104トン(1.0%)増加しました。

(1) 届出外排出量の構成

届出外排出量の排出源については、届出外対象業種と非対象業種からの排出量の合計(事業系)が全体の57.6%を占めていました。また、家庭からの排出量は18.3%、移動体からの排出量は24.1%の割合でした。

前年度と比較すると、家庭、自動車、その他の移動体において排出量が減少しました。

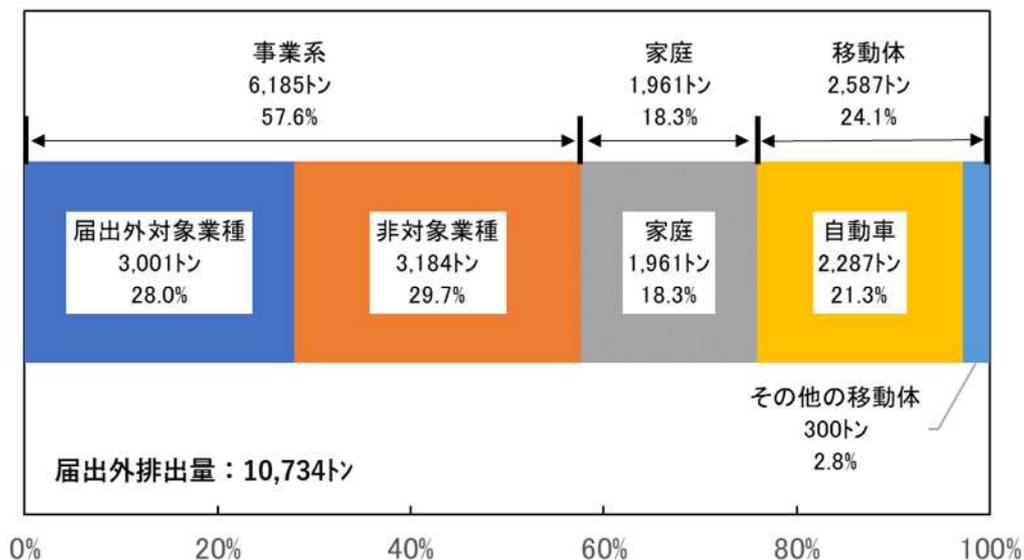


図1-5-1 届出外排出量の構成割合

表1-5-1 届出外排出量の構成の前年度比較

	届出外排出量(トン)					合計(トン)
	事業系		家庭	移動体		
	届出外対象業種	非対象業種		自動車	その他の移動体	
2022年度	3,001	3,184	1,961	2,287	300	10,734
2021年度	2,906	2,999	2,123	2,300	302	10,630
増減	95	185	△ 162	△ 13	△ 2	104
増減率	3.3%	6.2%	△ 7.6%	△ 0.6%	△ 0.7%	1.0%

(2) 家庭からの物質別の排出量

家庭からの排出量は1,961トンでした。上位5物質は、①ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル、②ジクロロベンゼン、③直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、④ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム、⑤2－アミノエタノールであり、この5物質で全体の82.4%を占めていました。

また、前年度と比較すると、上位5物質のうち②ジクロロベンゼン、⑤2－アミノエタノールの排出量が減少しました。全体では162トン（7.6%）減少しました。

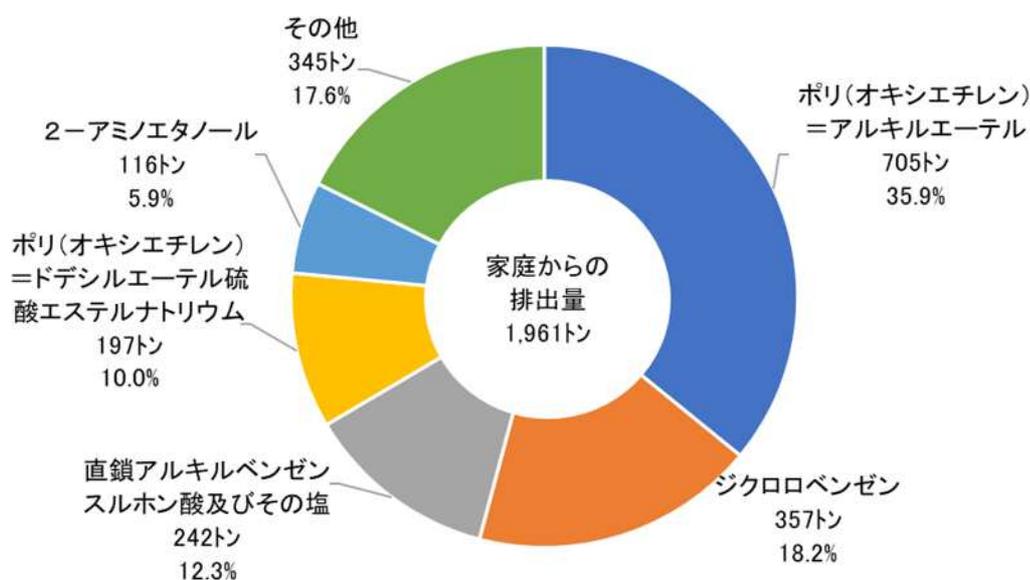


図 1－5－2 家庭からの排出量の物質別の割合

表 1－5－2 物質別の家庭からの排出量の前年度比較及びその用途

	家庭からの排出量(トン)						合計(トン)
	①ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	②ジクロロベンゼン	③直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	④ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム	⑤2－アミノエタノール	その他物質	
2022年度	705	357	242	197	116	345	1,961
2021年度	683	434	242	180	174	410	2,123
増減	22	△ 77	0	17	△ 58	△ 65	△ 162
増減率	3.2%	△ 17.7%	0.0%	9.4%	△ 33.3%	△ 15.9%	△ 7.6%
主な用途	洗浄剤 化粧品	防虫剤 消臭剤	洗浄剤 化粧品	洗浄剤 化粧品	洗浄剤 化粧品	—	—

(3) 移動体からの物質別の排出量

移動体からの排出量は 2,587 トンでした。上位 5 物質は、①トルエン、②キシレン、③ホルムアルデヒド、④ベンゼン、⑤ノルマルーヘキサンであり、この 5 物質で全体の 82.4% を占めていました。また、前年度と比較すると、上位 5 物質のうち①トルエン、②キシレン、④ベンゼン、⑤ノルマルーヘキサンの排出量が減少し、全体では 15 トン (0.6%) 減少しました。

また、移動体の種類別の排出量については、自動車からの排出量が全体の 88.4% を占めていました。

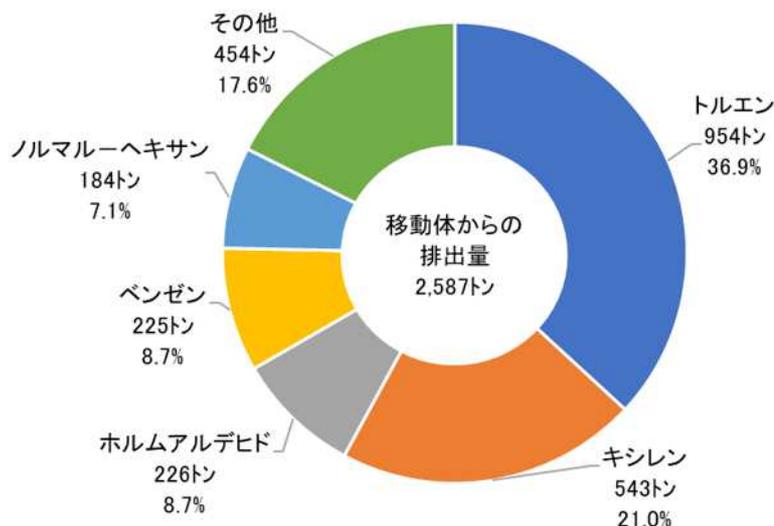


図 1-5-3 移動体からの排出量の物質別の割合

表 1-5-3 物質別の移動体からの排出量の前年度比較

	乗り物(自動車など)からの排出量(トン)						合計(トン)
	①トルエン	②キシレン	③ホルムアルデヒド	④ベンゼン	⑤ノルマルーヘキサン	その他物質	
2022年度	954	543	226	225	184	454	2,587
2021年度	964	549	218	227	187	457	2,602
増減	△ 10	△ 6	8	△ 2	△ 3	△ 3	△ 15
増減率	△ 1.0%	△ 1.1%	3.7%	△ 0.9%	△ 1.6%	△ 0.7%	△ 0.6%

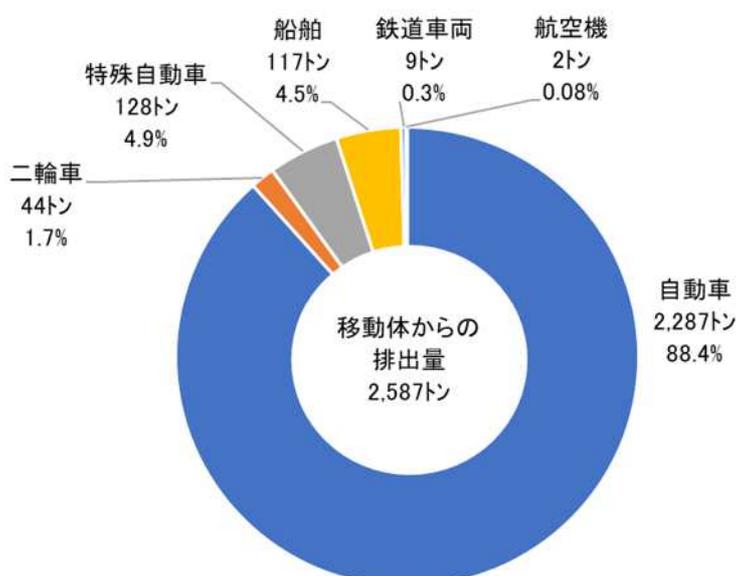


図 1-5-4 移動体からの排出量の種類別の割合

表 1-5-4 移動体からの種類別排出量の前年度比較

	移動体からの排出量(トン)						合計(トン)
	①自動車	②二輪車	③特殊自動車	④船舶	⑤鉄道車両	⑥航空機	
2022年度	2,287	44	128	117	9	2	2,587
2021年度	2,300	46	124	122	9	1	2,602
増減	△ 13	△ 2	4	△ 5	0	1	△ 15
増減率	△ 0.6%	△ 4.3%	3.2%	△ 4.1%	0.0%	100.0%	△ 0.6%

6 届出移動量

届出移動量は 36,006 トンであり、前年度と比較すると 1,492 トン (4.3%) 増加しました。

(1) 届出移動量の移動先

届出移動量全体の 99.9%が廃棄物として事業所外へ移動されました。

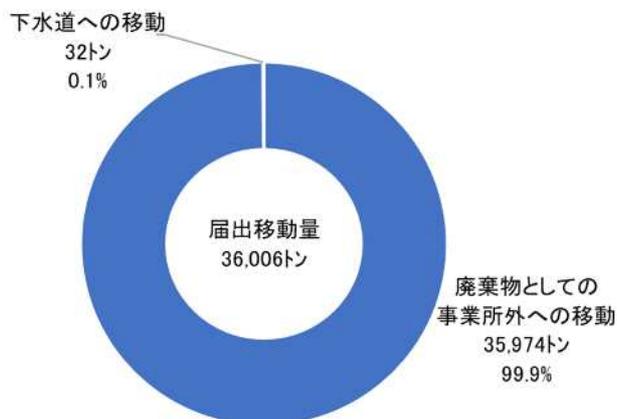


図 1-6-1 届出移動量の移動先別の割合

(2) 業種別の届出移動量

届出移動量の上位 5 業種は、①鉄鋼業、②化学工業、③輸送用機械器具製造業、④金属製品製造業、⑤プラスチック製品製造業であり、この 5 業種で全体の 96.8%を占めていました。また、前年度と比較すると、上位 5 業種のうち②化学工業、③輸送用機械器具製造業、④金属製品製造業、⑤プラスチック製品製造業の移動量が減少しました。

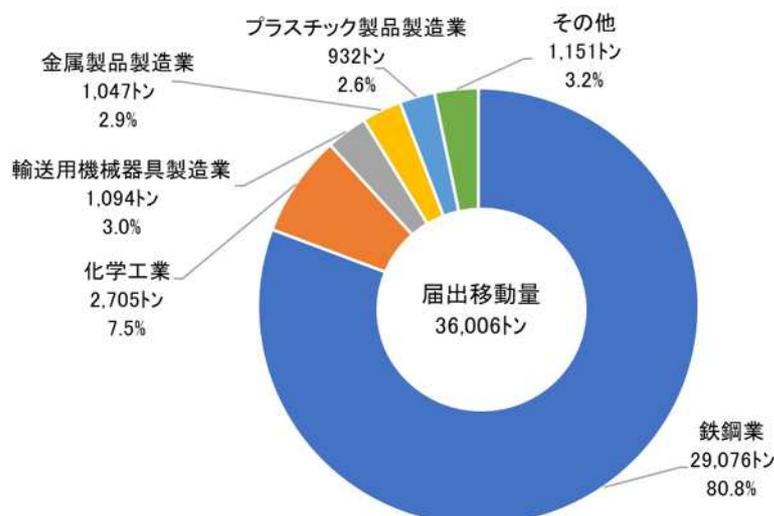


図 1-6-2 届出移動量の業種別の割合

表 1-6-1 業種別の届出移動量の前年度比較

	届出移動量(トン)						合計(トン)
	①鉄鋼業	②化学工業	③輸送用機械器具製造業	④金属製品製造業	⑤プラスチック製品製造業	その他業種	
2022年度	29,076	2,705	1,094	1,047	932	1,151	36,006
2021年度	27,030	3,034	1,098	1,181	1,136	1,034	34,514
増減	2,046	△ 329	△ 4	△ 134	△ 204	117	1,492
増減率	7.6%	△ 10.8%	△ 0.4%	△ 11.3%	△ 18.0%	11.3%	4.3%

(3) 物質別の届出移動量

届出移動量の上位5物質は、①マンガン及びその化合物、②クロム及び三価クロム化合物、③トルエン、④ニッケル化合物、⑤N, N-ジメチルアセトアミドであり、この5物質で全体の88.6%を占めていました。また、前年度と比較すると、上位5物質のうち⑤N, N-ジメチルアセトアミド移動量が減少しました。

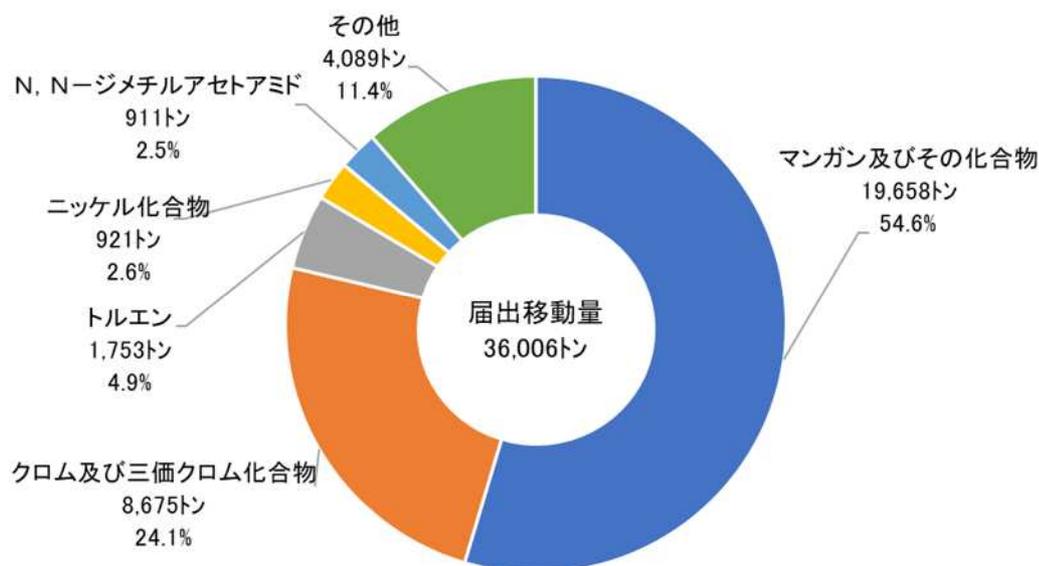


図 1-6-3 届出移動量の物質別の割合

表 1-6-2 物質別の届出移動量の前年度比較

	届出移動量(トン)						合計(トン)
	①マンガン及びその化合物	②クロム及び三価クロム化合物	③トルエン	④ニッケル化合物	⑤N, N-ジメチルアセトアミド	その他物質	
2022年度	19,658	8,675	1,753	921	911	4,089	36,006
2021年度	18,409	7,830	1,742	748	933	4,853	34,514
増減	1,249	845	11	173	△ 22	△ 764	1,492
増減率	6.8%	10.8%	0.6%	23.1%	△ 2.4%	△ 15.7%	4.3%

7 届出取扱量

届出取扱量は 2,545,297 トンであり、前年度と比較すると 604,090 トン（19.2%）減少しました。

（1）業種別の届出取扱量

届出取扱量の上位 5 業種は、①化学工業、②石油製品・石炭製品製造業、③燃料小売業、④鉄鋼業、⑤倉庫業であり、この 5 業種で全体の 89.6%を占めていました。また、前年度と比較すると、上位 5 業種のうち①化学工業、③燃料小売業、④鉄鋼業、⑤倉庫業の取扱量が減少しました。

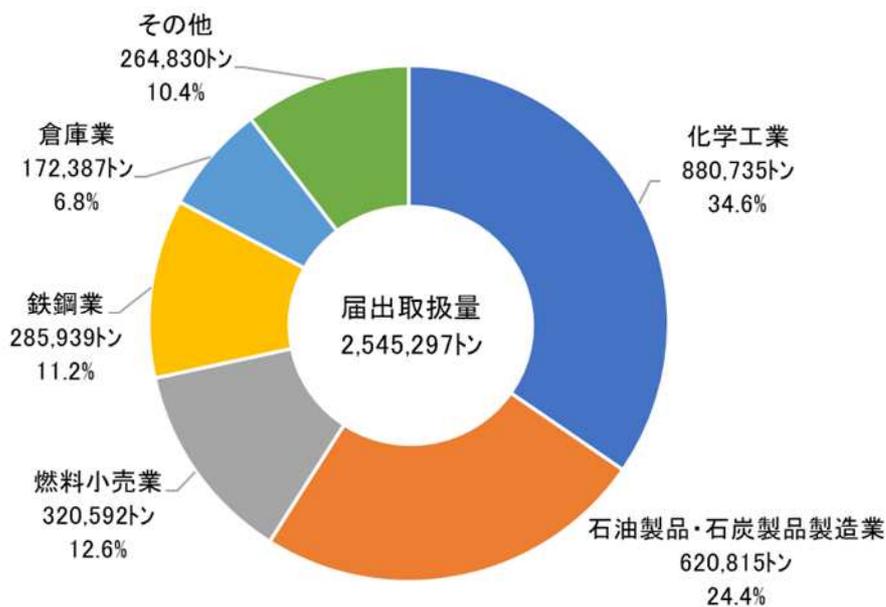


図 1-7-1 届出取扱量の業種別の割合

表 1-7-1 業種別の届出取扱量の前年度比較

	届出取扱量(トン)						合計(トン)
	①化学工業	②石油製品・石炭製品製造業	③燃料小売業	④鉄鋼業	⑤倉庫業	その他業種	
2022年度	880,735	620,815	320,592	285,939	172,387	264,830	2,545,297
2021年度	1,453,372	524,181	325,376	359,066	219,324	268,067	3,149,387
増減	△ 572,637	96,634	△ 4,784	△ 73,127	△ 46,937	△ 3,237	△ 604,090
増減率	△ 39.4%	18.4%	△ 1.5%	△ 20.4%	△ 21.4%	△ 1.2%	△ 19.2%

(2) 物質別の届出取扱量

届出取扱量の上位5物質は①トルエン、②キシレン、③テレフタル酸、④ノルマルーヘキサン、⑤イブシロンーカプロラクタムであり、この5物質で全体の52.0%を占めていました。また、前年度と比較すると、上位5物質のうち①トルエン、②キシレン、③テレフタル酸、④ノルマルーヘキサンの取扱量が減少しました。

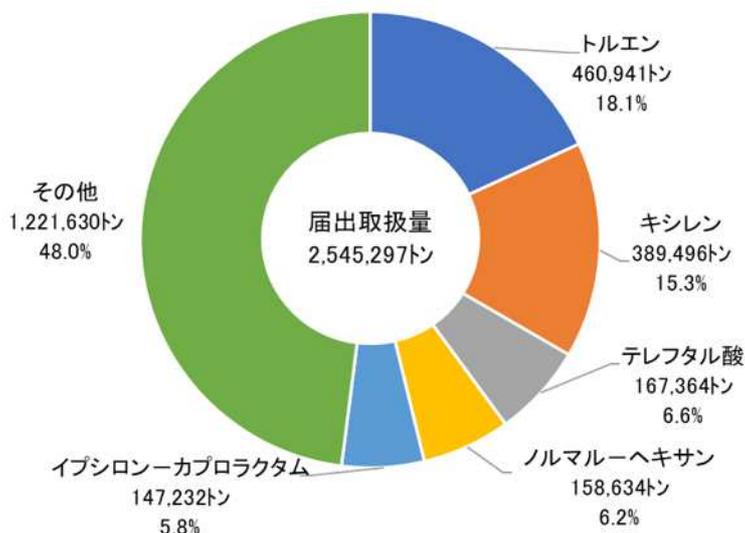


図 1-7-2 届出取扱量の物質別の割合

表 1-7-2 物質別の届出取扱量の前年度比較

	届出取扱量(トン)						合計(トン)
	①トルエン	②キシレン	③テレフタル酸	④ノルマルーヘキサン	⑤イブシロンーカプロラクタム	その他物質	
2022年度	460,941	389,496	167,364	158,634	147,232	1,221,630	2,545,297
2021年度	570,927	489,432	211,212	198,814	113,343	1,565,658	3,149,387
増減	△ 109,986	△ 99,936	△ 43,848	△ 40,180	33,889	△ 344,028	△ 604,090
増減率	△ 19.3%	△ 20.4%	△ 20.8%	△ 20.2%	29.9%	△ 22.0%	△ 19.2%

第2 排出量・移動量・取扱量の推移について

1 全排出量

(1) 全排出量の推移

化管法により集計を開始した2001年度以降の排出量の推移は次のとおりです。

2022年度の全排出量は19,077トンでした。化学物質の全排出量は減少傾向ですが、近年は横ばいです。

なお、2010年度から届出対象物質が354物質から462物質に変更されています(2023年度分から515物質に変更されます)。

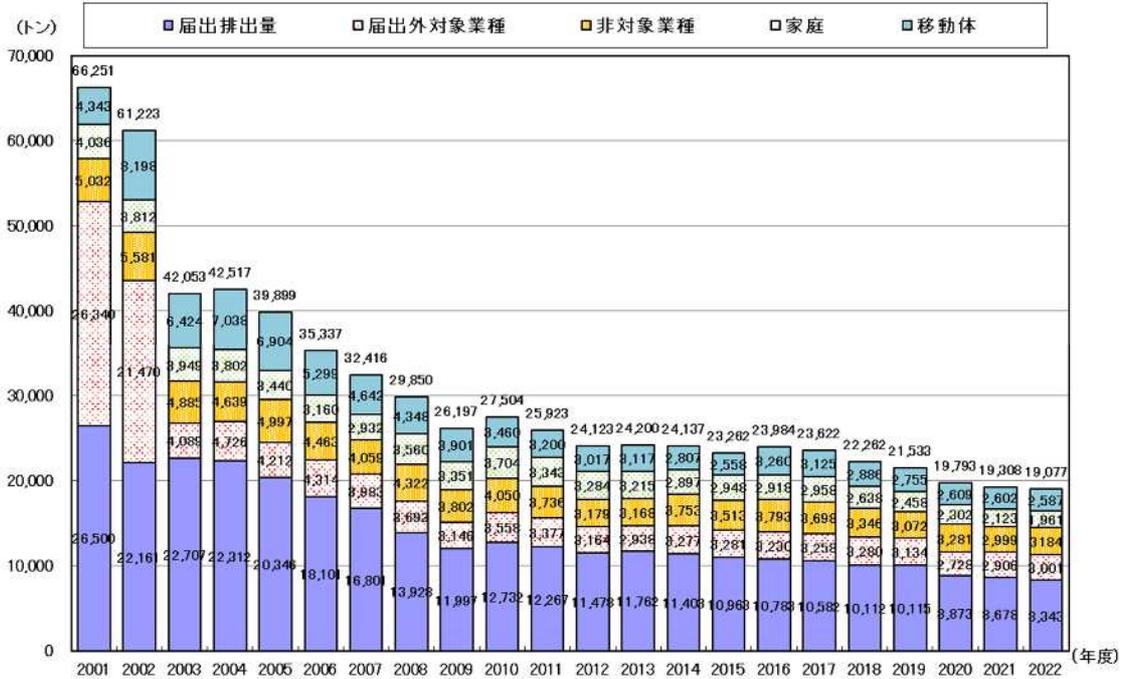


図2-1-1 全排出量の推移

(2) 全排出量の上位5物質の推移

2022年度の全排出量の上位5物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルヘキサン、⑤ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテルでした。2001年度と比較すると、①トルエンは12,412トン(70.8%)、②キシレンは7,607トン(69.1%)減少しました。

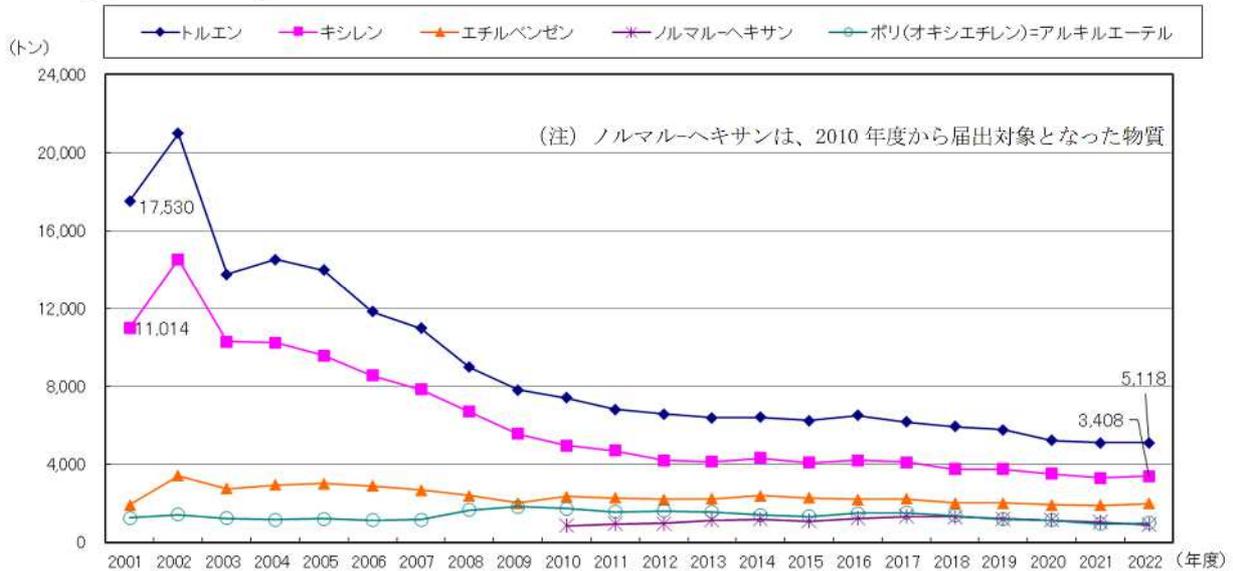


図2-1-2 全排出量上位5物質の推移

2 届出排出量

(1) 届出排出量の推移

2022年度の届出排出量は8,343トンでした。対象物質の届出排出量は減少傾向です。

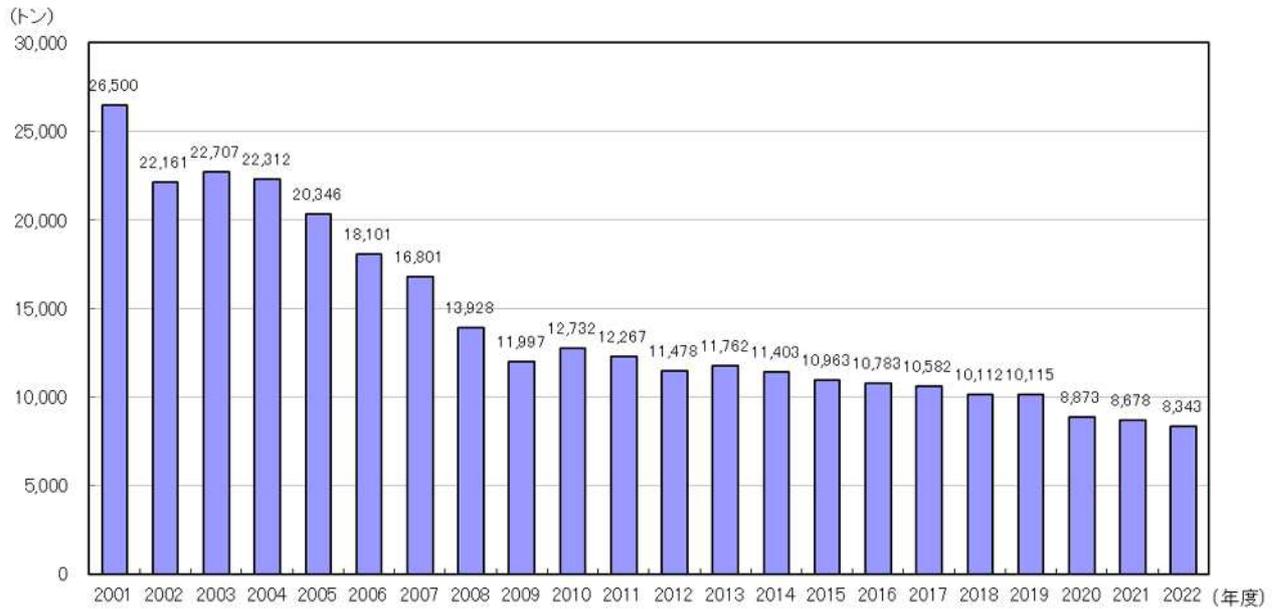


図2-2-1 届出排出量の推移

(2) 届出排出量の上位5業種の推移

2022年度の届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③金属製品製造業、④化学工業、⑤一般機械器具製造業でした。2001年度と比較すると、①輸送用機械器具製造業は7,122トン(70.9%)減少し、②プラスチック製品製造業は2,798トン(72.0%)減少しました。

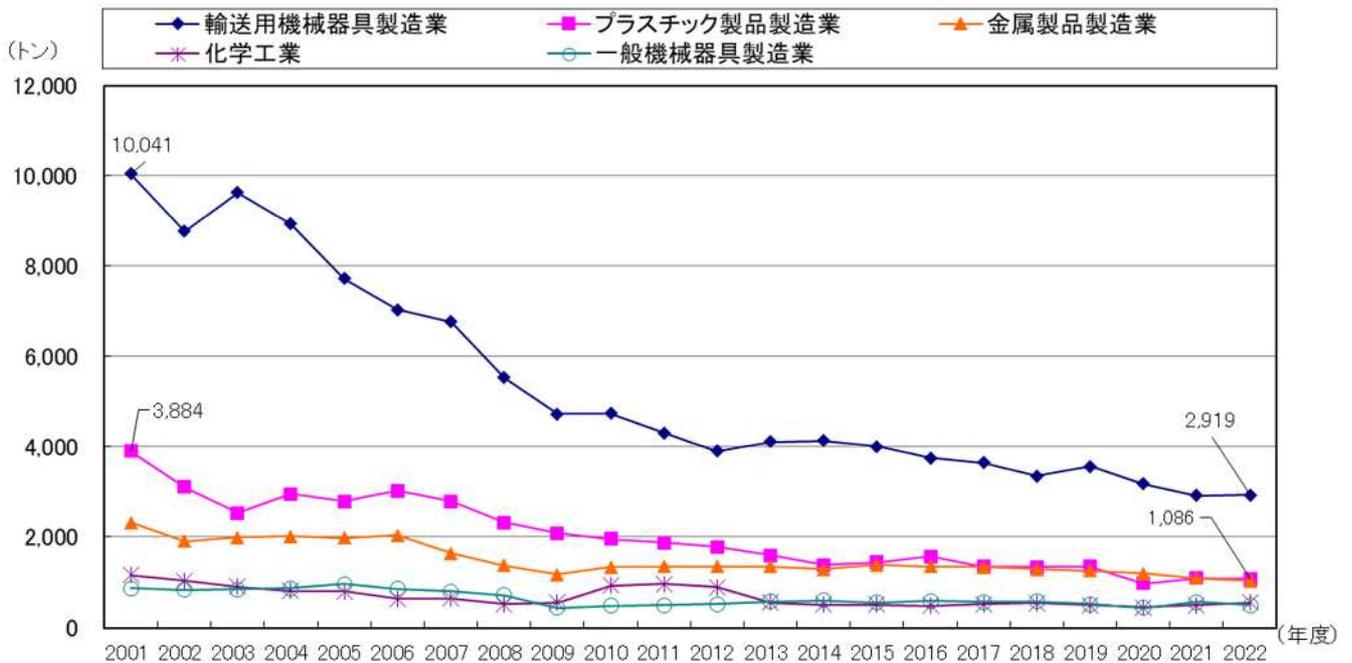


図2-2-2 届出排出量上位5業種の推移

(3) 届出排出量の上位5物質の推移

2022年度の届出排出量の上位5物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルヘキサン、⑤塩化メチレンでした。2001年度と比較すると、①トルエンは8,738トン(75.1%)、②キシレンは6,257トン(80.0%)減少しました。

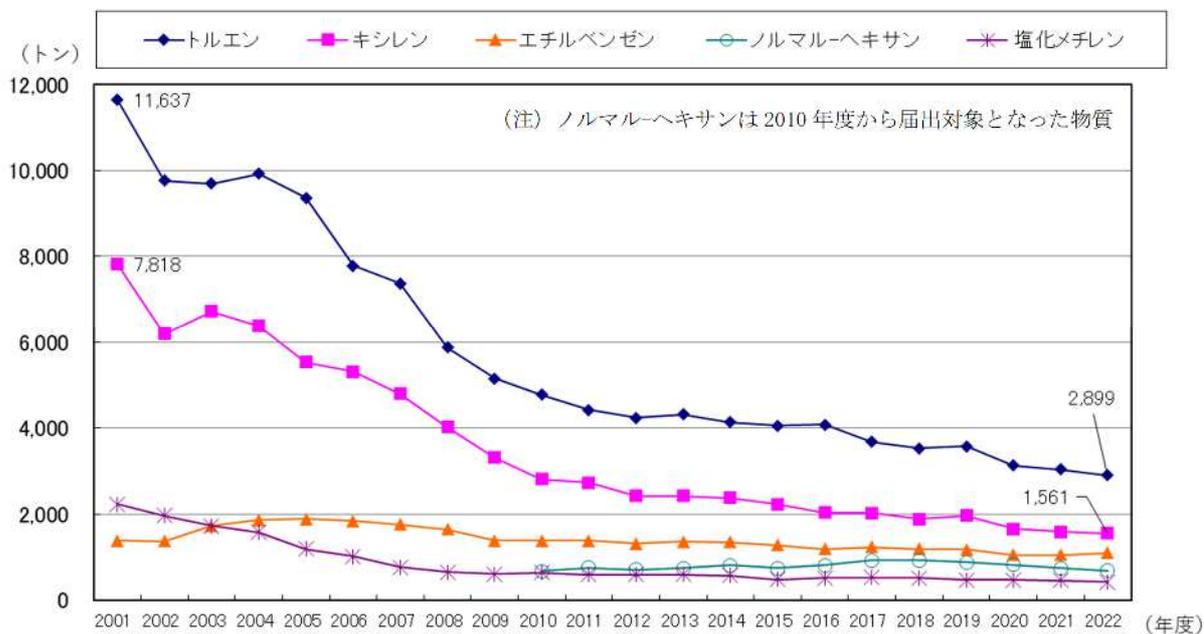


図2-2-3 届出排出量上位5物質の推移

(4) トルエン及びキシレンの届出排出量の上位5業種の推移

2022年度のトルエンの届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③出版・印刷・同関連産業、④金属製品製造業、⑤一般機械器具製造業でした。2001年度と比較すると、①輸送用機械器具製造業は2,999トン(76.3%)、②プラスチック製品製造業は2,257トン(78.1%)減少しました。

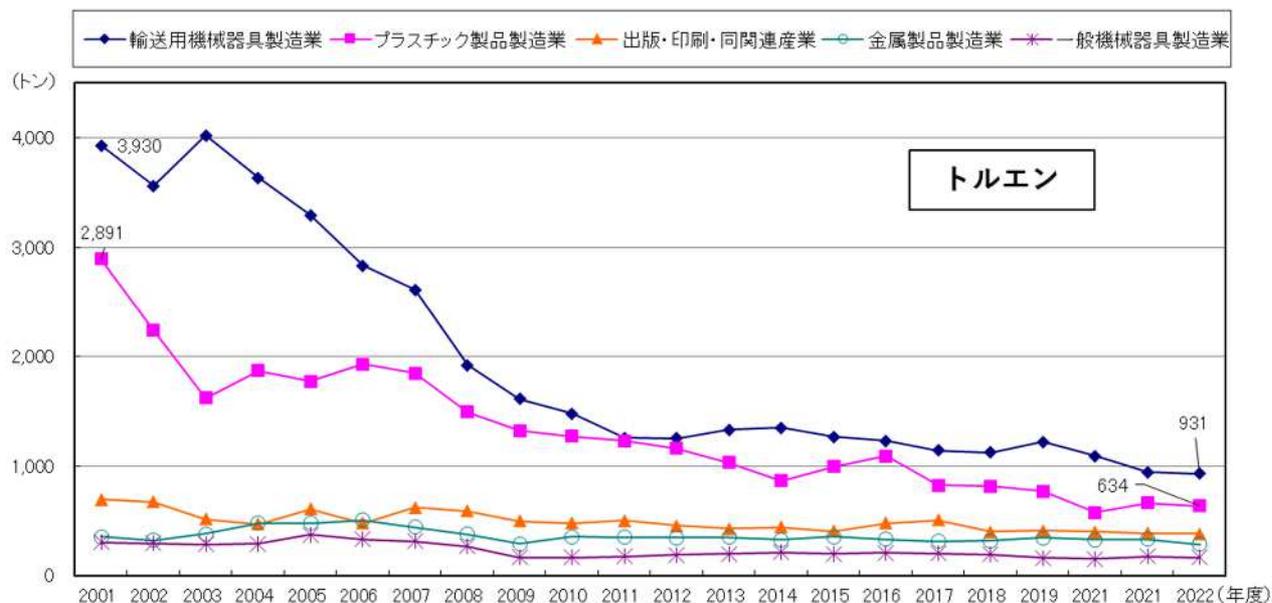


図2-2-4 トルエンの届出排出量上位5業種の推移

2022年度のキシレンの届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②金属製品製造業、③プラスチック製品製造業、④一般機械器具製造業、⑤化学工業でした。2001年度と比較すると、①輸送用機械器具製造業は3,526トン(82.7%)、②金属製品製造業は509トン(68.0%)減少しました。

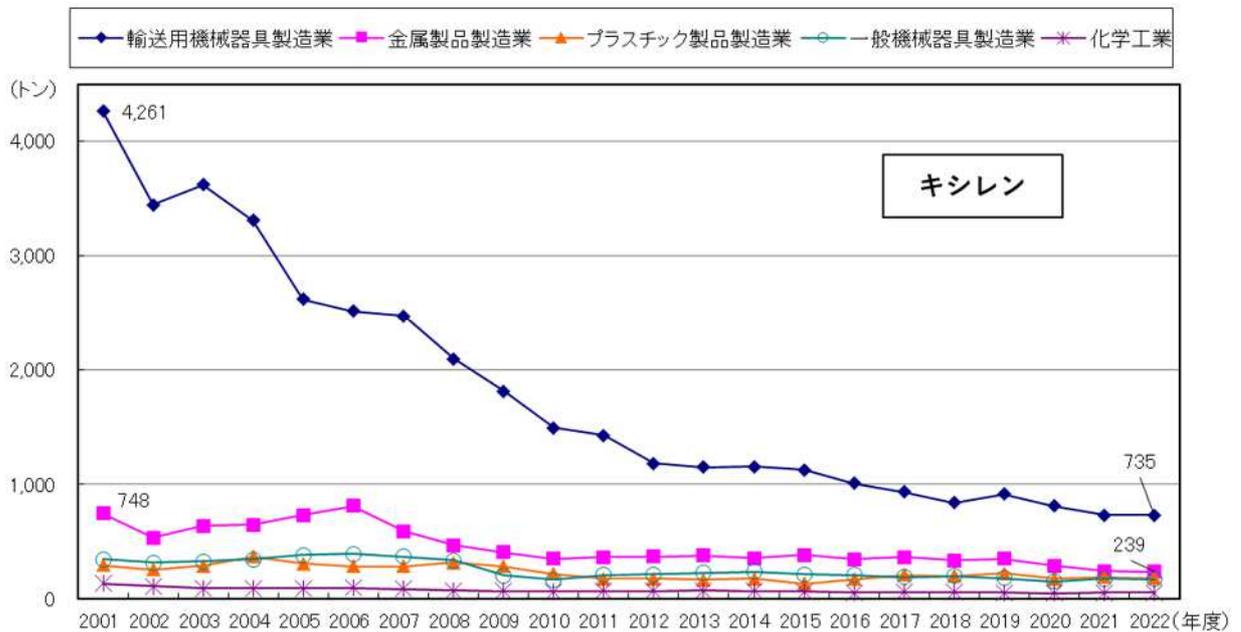


図2-2-5 キシレンの届出排出量上位5業種の推移

3 届出外排出量の推移

国が推計した2022年度の届出外排出量は10,734トンでした。対象化学物質の届出外排出量は減少傾向ですが、近年は横ばいです。

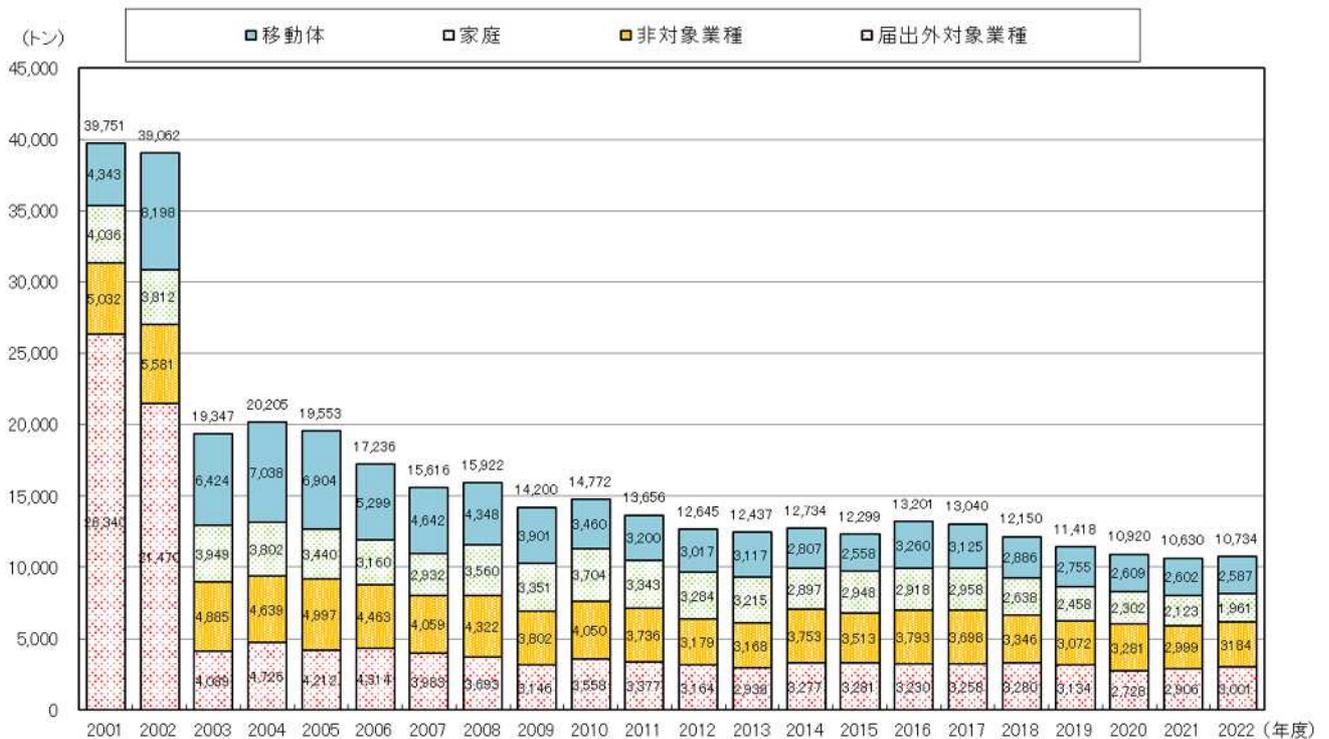


図2-3 届出外排出量の推移

4 届出移動量

(1) 届出移動量の推移

化管法により集計を開始した 2001 年度以降の届出移動量の推移は次のとおりです。

2022 年度の届出移動量は 36,006 トンでした。対象化学物質の届出移動量は増加傾向であり、そのほとんどは廃棄物として処理されています。

なお、2010 年度から届出対象物質が 354 物質から 462 物質に変更されています（2023 年度分から 515 物質に変更されます）。

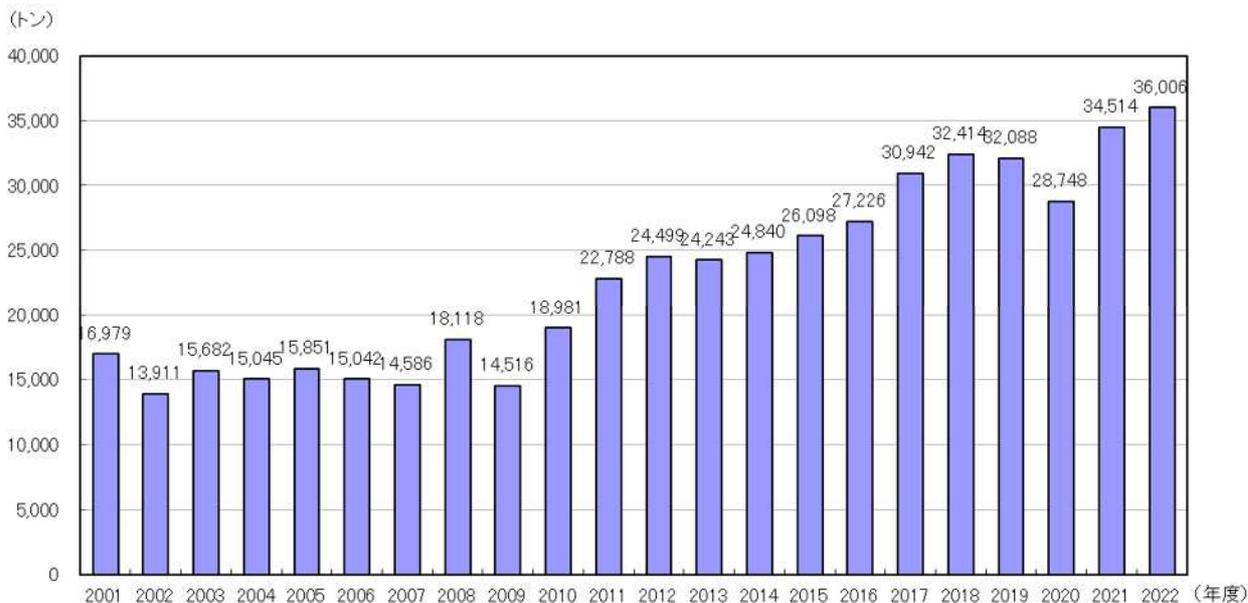


図 2-4-1 届出移動量の推移

(2) 届出移動量の上位 5 業種の推移

2022 年度の届出移動量の上位 5 業種は、①鉄鋼業、②化学工業、③輸送用機械器具製造業、④金属製品製造業、⑤プラスチック製品製造業でした。2001 年度と比較すると、①鉄鋼業は 24,818 トン（582.8%）増加し、②化学工業は 2,261 トン（45.5%）減少しました。

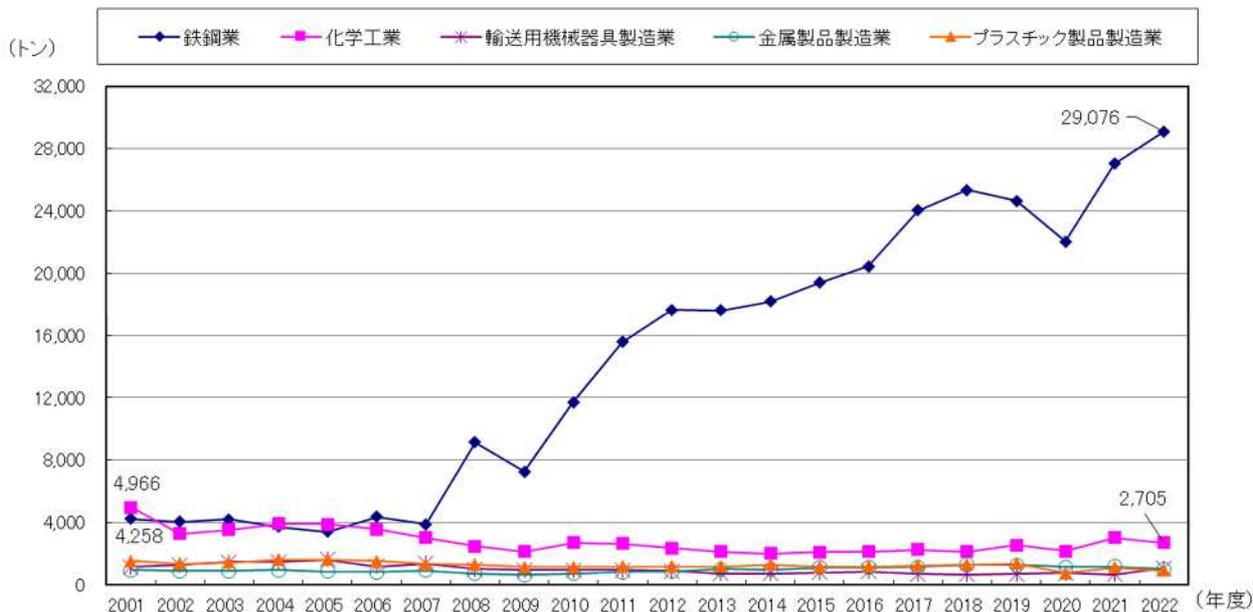


図 2-4-2 届出移動量上位 5 業種の推移

(3) 届出移動量の上位5物質の推移

2022年度の届出移動量の上位5物質は、①マンガン及びその化合物、②クロム及び三価クロム化合物、③トルエン、④ニッケル化合物、⑤N,N-ジメチルアセトアミドでした。集計を開始した2001年度と比較すると、①マンガン及びその化合物は18,163トン(1215.4%)、②クロム及び三価クロム化合物は7,163トン(473.9%)増加しました。

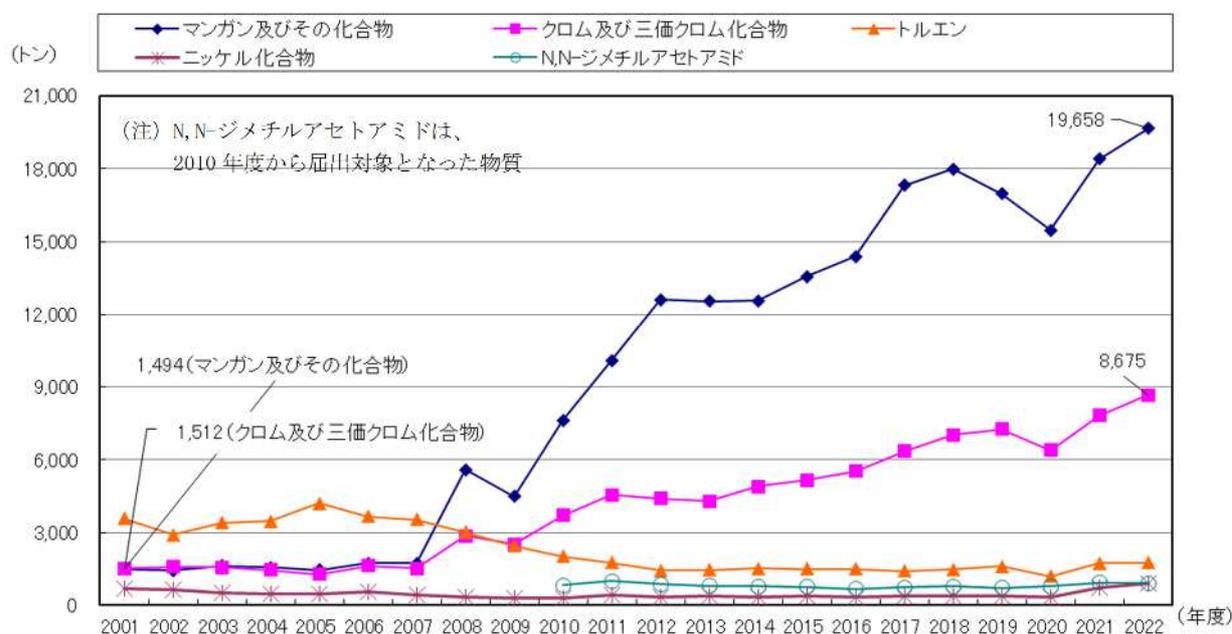


図2-4-3 届出移動量上位5物質の推移

5 届出取扱量

(1) 届出取扱量の推移

条例により集計を開始した2004年度以降の届出取扱量の推移は以下のとおりです。

2022年度の届出取扱量は2,545,297トンでした。対象化学物質の届出取扱量はほぼ横ばいです。

なお、2010年度から届出対象物質が354物質から462物質に変更されています(2023年度分から515物質に変更されます)。

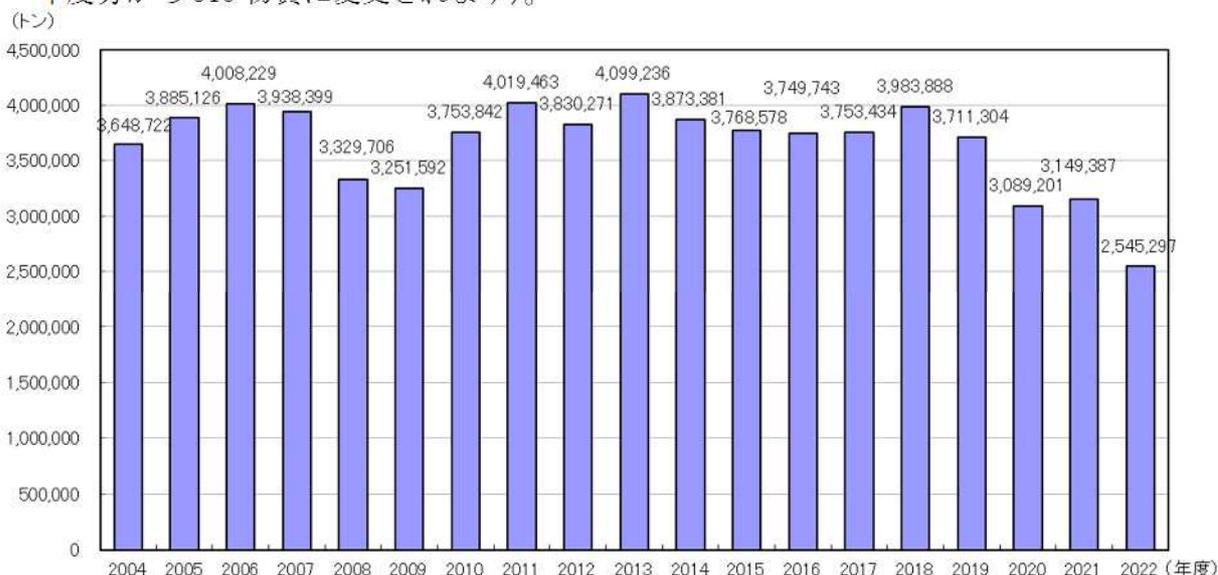


図2-5-1 届出取扱量の推移

(2) 届出取扱量の上位5業種の推移

2022年度の届出取扱量の上位5業種は、①化学工業、②石油製品・石炭製品製造業、③燃料小売業、④鉄鋼業、⑤倉庫業でした。届出取扱量の集計を開始した2004年度と比較すると、①化学工業が476,222トン(35.1%)減少し、②石油製品・石炭製品製造業は383,446トン(38.2%)減少しました。



図2-5-2 届出取扱量上位5業種の推移

(3) 届出取扱量の上位5物質の推移

2022年度の届出取扱量の上位5物質は①トルエン、②キシレン、③テレフタル酸、④ノルマルーヘキサン、⑤イプシロンーカプロラクタムでした。届出取扱量の集計を開始した2004年度と比較すると、①トルエンは294,526トン(39.0%)、②キシレンは457,576トン(54.0%)減少しました。

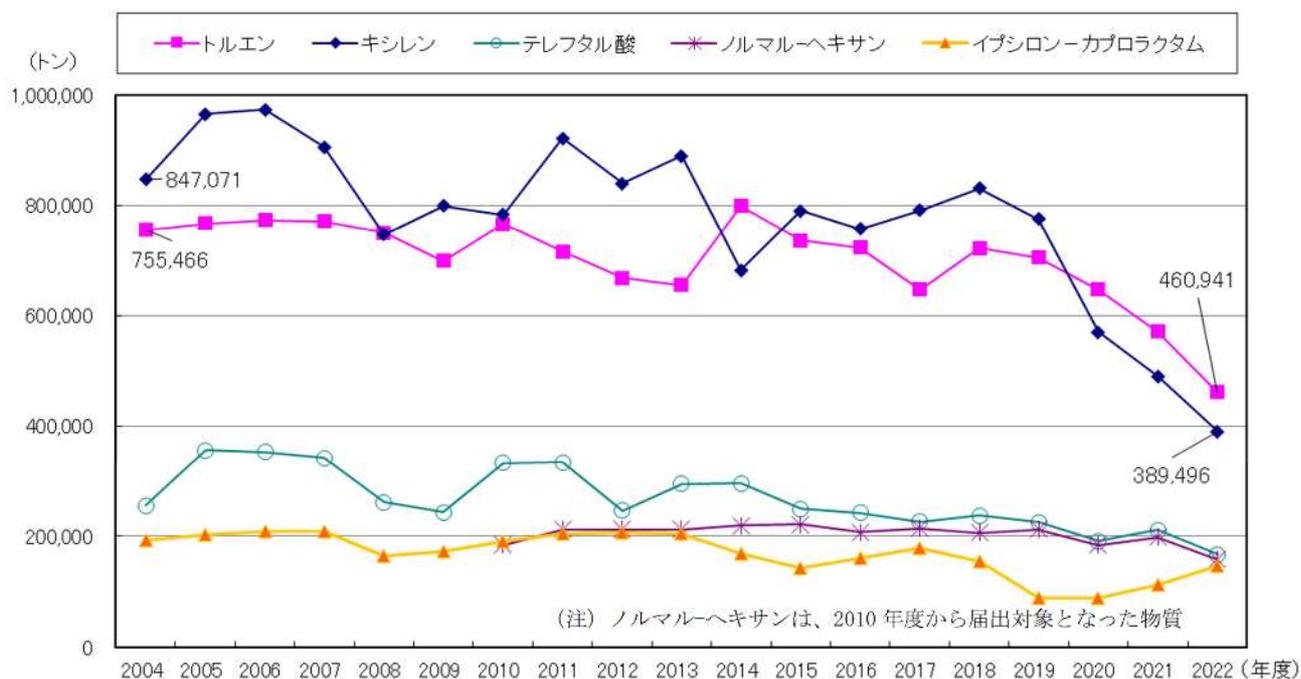
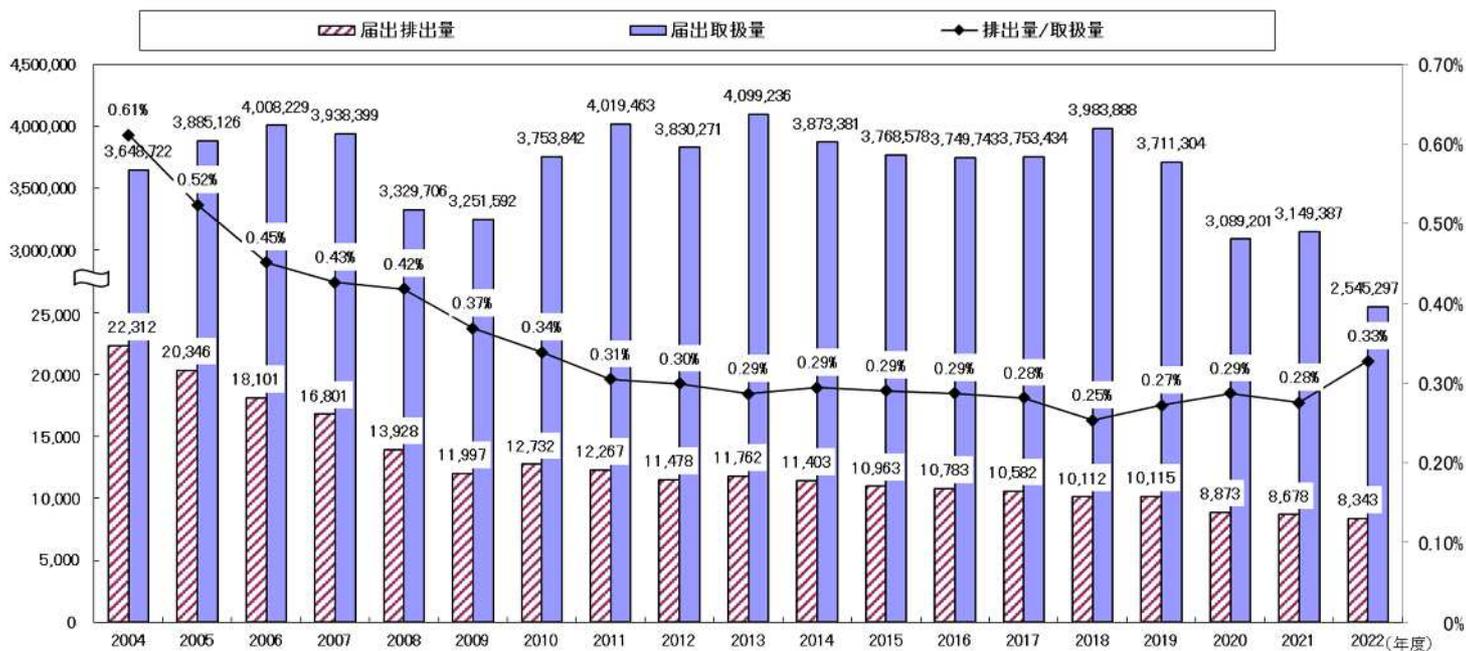


図2-5-3 届出取扱量上位5物質の推移

(4) 届出取扱量に対する届出排出量の割合

化学物質を製造・使用する際に環境中へ排出される割合（届出取扱量に対する届出排出量の割合）は、届出取扱量の集計を開始した 2004 年度の 0.61% から、2022 年度は 0.33% まで低下しました。このように、化学物質の排出抑制に係る事業者の取組が進んでいると考えられます。



(注) 2010 年度から届出対象物質が 354 種類から 462 物質に変更されている。

図 2-5-4 届出取扱量に対する届出排出量の割合の推移